





## 研修の企画・立案

研修内容は、「実際に活動できる、学校へ足を運べるコーディネーター」「学校とボランティアの中立の立場を維持できるコーディネーター」の育成を目指し企画立案した。

受講者の負担を考慮し、年3回の研修会としたが、各回の間には、実際に活動するための基盤作りができるような“課題”を出し、取り組んでもらうこととした。

### 【第1回研修会】

第1回研修会では、学校支援ボランティアの必要性を再認識してもらうとともに、活動を推進するためには、コーディネーターの存在が必要不可欠であることを知らせることを第一の目的とした。さらに、コーディネーターが学校とボランティアとの中立の立場であるべきことや、双方の相談役であり助言者であるべきことなどを、プレゼンを活用しレクチャーしてもらうこととした。

後半は、『トークトークトーク』と題して、受講者がこれまで活動・体験してきた学校支援ボランティアに対する思いや考え、課題などを出し合い、それらの思いを実現させ、課題を克服するためにもコーディネーターの存在がいかに重要であることを認識してもらうものとした。

第1回研修会については、特に、学校支援ボランティアコーディネーターとして、以下の3点を押さえることに焦点を当てた。

- (1) 学校支援ボランティアの効果とその必要性
- (2) 学校、そして教員の現状把握
- (3) コーディネーターの資質とその基本的役割





### ③研修プログラムの展開内容

#### 第1回ボランティアコーディネーター研修会

日時：平成19年6月19日（火）14:00～16:00

場所：芳賀庁舎分庁舎（芳賀教育事務所）・大会議室

14:00 14:10 15:00 15:10 16:00

開会 行事	【研修Ⅰ】 『なぜ、今、ボランティア コーディネーターか？』 講師：教育事務所職員	休憩	【研修Ⅱ】 トークトークトーク 『学校支援ボランティア に対する思い、願い』
----------	--	----	---

#### 第2回ボランティアコーディネーター研修会

日時：平成19年9月18日（火）14:00～16:00

場所：芳賀庁舎分庁舎（芳賀教育事務所）・大会議室

14:00 14:10 15:00 15:10 16:00

開会 行事	【研修Ⅰ】 講話『パートナーシップの絆を結ぶ』 講師：全国体験活動ボランティア活動 総合推進センター コーディネーター 興梠 寛	休憩	【研修Ⅱ】 学校訪問を通して 『ボランティアのニーズを分 類し、分析しよう』 『学校訪問をした感想を共有 しよう』
----------	--	----	--

#### 第3回ボランティアコーディネーター研修会

日時：平成19年11月20日（火）14:00～16:30

場所：芳賀庁舎分庁舎（芳賀教育事務所）・大会議室

14:00 14:10 15:00 15:30 16:30

開会 行事	【研修Ⅰ】 『学校支援ボランティアの コーディネートを通して』	【研修Ⅱ】 実践事例発表『こうし て進んだ！学校支援ボ ランティアコーディネ ート』	【研修Ⅲ】 『ボランティアコーデ ィネートにおける課題 について』
----------	---------------------------------------	--	--

### ④研修の実施に当たってのポイント・留意点

参加者の募集については、実際に活動する学校との連携が取りやすくなるよう管内

全小中学校に下のような案内チラシを送付し、各学校で把握しているコーディネーターとなり得る方に声をかけてもらった。

さらには、管内各市町生涯学習課から、コーディネーターになり得る人材に声をかけてもらった。

【募集に関して】

平成19年度

## ボランティアコーディネーター研修会

学校とボランティアの橋渡しをしてみませんか？  
学校支援ボランティアを進めるために、コーディネーターの存在が必要です。

### 第1回ボランティアコーディネーター研修会

（日時）平成19年6月19日（火） 14：00～16：00  
（場所）芳賀庁舎分庁舎（芳賀教育事務所）

「ボランティアコーディネーターって何をするの？」について、コーディネーターの役割について研修します。

### 第2回ボランティアコーディネーター研修会

（日時）平成19年9月18日（火） 14：00～16：00  
（場所）芳賀庁舎分庁舎（芳賀教育事務所）

学校支援ボランティアの活動において、実際にコーディネーターが活躍している全国の事例について研修します。

### 第3回ボランティアコーディネーター研修会

（日時）平成19年11月20日（火） 14：00～16：30  
（場所）芳賀庁舎分庁舎（芳賀教育事務所）

実際にボランティアコーディネーターをするための具体的な準備について、話し合い研修します。

### ボランティアコーディネーターとは？



【参加申し込み】  
裏面別紙様式により、6月12日（火）までに、下記まで、お電話、FAX、または郵送でお申し込み下さい。

〒321-4325 真岡市田町1568  
芳賀教育事務所ふれあい学習課（担当：小林）  
TEL 0285-82-3324  
FAX 0285-82-5140



これまでのコーディネーター養成研修は、事例紹介に偏りがちであったため、本研修では、コーディネーターの役割に焦点を当て、具体的な動きを明確にした。また、回数の少ない研修の中で、実際に学校で活動できる環境を整え、その資質を身につけるため、学校訪問をし、そのニーズを把握してもらった。

コーディネーターの役割や学校の現状を把握した段階での2回目研修では、全国体験活動ボランティア活動総合推進センターコーディネーター興柁寛氏を講師として、全国の実際に活動する様子の映像などを交えながらのお話で、形として見えなかったコーディネーションの実際について理解できる内容のものとした。また、現状把握を目的とし、第1回目に出した課題である「学校訪問をしよう」の成果や感想などを共有しあうものとした。

学校によって学校支援ボランティアの捉え方に大きな温度差があること、学校は一般の人にとって敷居の高いところだということなど、活発な意見交換がなされました。

その意見交換会に、講師の興梠氏にもご参加いただき、このように実際に活動することに焦点を当てた研修会の内容にお褒めの言葉をいただくとともに、今後への期待のお言葉をいただきました。

さらに、2回目の課題として実際にコーディネートを経験することで、達成感や難しさ、課題などを実感し、実際のコーディネーションに向けての土台作りとした。

また、過年度の修了者の取組事例を聞いたり、情報交換をすることにより、コーディネーター同士が情報を共有し、ネットワーク化を図った。

## 研修の成果と今後の取組

### 〔成果〕

- 研修修了者全員が、コーディネーターとして活動するには至っていないが、いくつかの学校でコーディネーターとして実際に活動している。

その学校の教職員からは、コーディネーターの存在により、学校支援ボランティアの導入が容易になり、子どもたちの学びの向上に大きく役立っているとの声が聞かれている。

また、これまで活躍の場が少なかったボランティアにとって、学びの成果を生かす場となり、生涯学習の振興に役立っている。

- ボランティアコーディネーター研修会を継続することにより、教職員の学校支援ボランティアへの関心が高まり、教職員自らがコーディネーターとして活躍しようとするケースも見られるようになった。
- ボランティアコーディネーターのネットワーク化により、情報交換をする場ができ、コーディネーターとしての活動を支えあえるようになった。

### 〔課題〕

- 全ての学校で活動するコーディネーター養成を目的としているが、学校支援ボランティア活動の効果をさらに広めていく必要がある。
- コーディネーターを各市町が支えていけるような環境づくりを目指し、支援していく必要がある。
- ボランティアの発掘、ボランティアの養成、人材情報の整理が必要である。

### 〔今後の取組〕

管内全小中学校へのコーディネーター配置を目標に、可能な限り、ボランティアコーディネーター研修会を実施する。さらには、ボランティアコーディネーター間の交流及び情報の共有ができるよう、支援していきたいと考えている。

執筆者職・氏名：栃木県教育委員会事務局芳賀教育事務所

ふれあい学習課 社会教育主事 小林 利之

## コーディネーターからの一言コメント

学校支援ボランティア活動の円滑な促進のため全3回の研修会を実施しているが、各回において実際的な課題を出して、研修者に実践してもらっていることが、大きな特色である。

例えば、コーディネーターとして活動しやすくするために、まず、直接学校を訪問し、そのニーズを把握してくる。次に、実際にコーディネーションを体験し、最終回で意見を交換するという形である。講義による研修と実践がよく組み合わせられている。この積み重ねに期待したい。

(中根 惇子)